

第2回双葉地区地域審議会会議録

1. 日時

平成24年10月26日(金)

10:00～12:00

2. 場所

甲斐市役所 双葉庁舎 1階 会議室

3. 会議次第

1、開会

2、委員の改選、委嘱状交付

3、会長のあいさつ

4、企画政策部長あいさつ

5、報告事項

① 甲斐市地域防災計画の改定事業について

② 双葉中学校施設改修事業について

③ 自治基本条例について

6、その他（市の財政状況について）

7、閉会

4. 出席者

(ア) 出席委員〔5名／6名〕

(イ) 欠席委員〔1名／6名〕長坂委員

(ウ) 事務局

土屋企画政策部長、有泉秘書政策課長、大森双葉支所長、保延消防防災対策室長
奥野教育総務課長、消防防災対策室消防防災係：望月係長、秘書政策課総合政策係：
石合係長、石原主査、小澤主査

5. 報告事項等における主な質疑

(1) 甲斐市地域防災計画改定事業について

・重点項目は一覧表を作成したほうが良い

⇒作成する。(別紙)

・防災行政無線は緊急時に一斉放送されるか。

⇒Jアラート(全国瞬時一斉放送)などにより緊急放送は一斉放送する。

・地理や地質によって災害による被害が及ぶ状況が異なり、また、その情報提供、避難経路などきめ細かい対策が必要と考えるが、計画書を策定するときの考え方について

⇒専門家の意見を聞きながら、ハザードマップなどの個別の計画や防災のマニュアルを作成するなかで対応を検討していく。

・溜池の対策について

⇒現地調査をしたなかで、検討していく。

・各地域の自主防災組織は、要援護者の問題を含めて、隣人とのコミュニケーションを図っていく

必要があるが、防災計画に声掛け運動の記載等ができるか。

- ・甲斐市地域防災計画を簡略化したほうが良い。
- ・自主防災組織の発展のために進んでいる地区の自主防災組織についてのPRが必要

⇒甲斐市地域防災計画は、甲斐市全体ですべきことなどを記載する。自主防災組織等での細かい取り組みについては、今後、各自治会の状況に沿った個別の防災マニュアルの作成を支援していきたい。

(2) 双葉中学校施設改修事業について

・今後、双葉地区で生徒が増え続けるようであれば、グラウンドも狭いことから移転といった考え方があるか。

⇒当面は、現状の改修等で対応していくが、他の学校で老朽化により、建て替えなければならない時期がきた場合については、統廃合を含めて検討材料になっていくと考える。

(3) 自治基本条例について

・自治基本条例に地方自治法や地方公務員法で明記されている議員や職員などの役割などを記載する考え方は。

⇒自治基本条例は、自治体の基本的な考え方を一同にまとめた条例と位置付けている。

個別の法令の趣旨を市の条例に移行する形で策定し、まちづくりを総体的に推進していきたい。

・自治体にとって、自治会の役割が大変重要と考えるが、自治基本条例への位置づけについて⇒地域コミュニティの自主性や自立性を尊重しつつ、積極的な活動ができるよう助言や支援を行うことを定めていきたい。

なお、自治基本条例の大きな趣旨の一つとして、市民との協働の自治体運営（協働のまちづくり）を謳っていく。

(4) その他

・甲斐市の市民憲章が地区公民館に飾っているか。なければ市で作成し、配布することができるか。

⇒後日回答する。(別紙)

- ・下水道の接続率向上についての対策について

⇒後日回答する。(別紙)

- ・双葉地区の公民館祭りで使用する展示ボードが、双葉公民館にないので、配備して欲しい。

⇒後日回答する。(別紙)

・現在、双葉地区の公民館活動費 30 万円については、光照寺のお祭りに 15 万円、公民館祭りに 15 万円となっている。竜王地区及び敷島地区は 30 万円の全額が公民館活動費として使えることから、例えば、光照寺のお祭りは別の形での補助金にするなどして、格差を無くして欲しい。

⇒後日回答する。(別紙)